

7月2日(金)午後、筑紫地区総合研究棟(C-Cube)筑紫ホールにて"九州大学筑紫地区講演会"として、科学者でもあり、NASA宇宙飛行士として7回もの宇宙飛行経験をお持ちのフランクリン・チャン・ディアス博士の講演会が開催されました。

学内者向けの第1部(3時~4時)、キャンパス近隣の中学校・高校生を主要な対象とした第2部(4時~5時)ともに、収容人数約270名の筑紫ホールが聴衆で満員になり、予備の椅子を用意する必要が生じるほど盛況でした。

第1部は未来の宇宙推進計画についての研究講演であり、プラズマを利用した電気推進について分かり易く解説いただきました。

第2部では宇宙飛行体験やNASAの宇宙開発計画についてお話いただいた後に中高生からの活発な質問がなされ会場内は熱気に満ちました。また、先端エネルギー専攻博士課程3年の森芳孝君の通訳が光っていました。



